

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 個別最適な学びの実現を行うための、発達の段階に応じた学び合い自由進度学習の実施 互いの違いを認め、誰一人取り残さない心情や行動をはぐくむための、異年齢の学びや活動の実施 	B	<ul style="list-style-type: none"> 多くの教科で、学び合い自由進度学習を実施し、授業公開などを通して研修を行った。 異年齢での学習や活動である「ジョイントスクール」を年8回行い、互いの違いを認め、誰一人取り残さない心情や行動をはぐくむことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ジョイントスクール」を参観して、来年度からの「藍東学園」に向けて、新たな取り組みをしていることがよくわかった。 異年齢集団の活動でも最初のころは、ぎこちなさがあったが、最近では打ち解けて一人一人が積極的に活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年は、藍東学園となり、「ファミリー」での生活や活動をしながらか、さらに「お互いの違いを認め、誰一人取り残さない心情や行動をはぐくむため異年齢集団」の在り方について検討していく。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域と共に未来を創る学校として、義務教育学校開校に向けた活動の実施 学校運営協議会を中核とした地域ぐるみで教育を推進する仕組みの構築 	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度義務教育学校開校準備委員会を年5回開催した。話し合った内容を基に、小中合同で職員研修や、運営委員会及び指導部会を随時行い、義務教育学校開校への期待感を共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度初めて行われた、小中地域運動会は、小学生、中学生そして地域の人々が一体となり大変良かった。来年もぜひ続けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 義務教育学校藍東学園として、異年齢集団での生活や活動を実践しながら、より良い方向を考えていく。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の豊かな心を育てるための、地域ボランティアスタッフとの協力による、あいさつ運動や清掃活動等の実施 ICT機器を利用しながら、オンデマンドで課題解決や資質向上ができる職員チームの育成 	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は17の地域行事に対して、中学生ボランティアの募集を行い、昨年度より多いのべ420人の生徒が地域に貢献した。 12回にわたり「学校での取り組み」や「地域とのつながり」をテーマに自治会広報誌に作文を寄稿し、学校での学びや地域貢献への思いを学校内外に発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティア活動では、中学生が小学生の良い見本となっている。地域の様々な活動に対し、いなくてはならない存在になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの参加は一定数確保できているが、同じ生徒が多くのボランティアに参加する傾向が見られる。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の人権感覚を磨くため、教師が児童生徒に対して語る「人権について語る日」「いじめを見逃さない日」の実施 児童生徒自身でいじめを許さないという意識を育てるための児童生徒の手による「いじめ防止週間」の実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の人権感覚を磨くため、月1回教員が人権をテーマにした講話を行った。 岐阜市12の人権課題に対して異年齢集団での対話を行った。 児童生徒自身でいじめを許さないという意識を育てるための児童生徒の手による「いじめ防止週間」を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ハートルーム活動では、小学生と中学生、地域の三者が温かい雰囲気、ゲームを工作したり、クイズを考えたりして、楽しみながら思いやりの心が育っていると感じている。来年度藍東学園になっても、こうした活動を続けていきたい。 登校できないわが子に対し、先生方が柔軟に対応してもらっている。そのため、学校へに対する嫌悪感が低下している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方と共に学ぶ「ハートメイツ学級」や地域の方と活動する「ハートメイツクラブ」など、さらに地域の方と共に学ぶ活動を実践していく。
災害、事故に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 全員の命を守るための判断力、行動力を育てる指導・訓練の計画的な実施 児童生徒の危機意識の向上させるための、小中学校および地域の組織と協働・連携した防災教育の実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校各3回の命を守る訓練を実施した。地震や火事を被災想定にしたり、教室以外の場所からの避難をしたりするなど、実践的な行動について学べるよう工夫した。 10月18日には土曜授業として、地域とともに小中学校合同で防災訓練を行った。地域ぐるみで防災について考えるよい機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、小学校のハートルームを拠点にして、学習支援や見守り活動を継続し、児童生徒の安全確保、心を育てる一助を担っていきたい。 「地域防災訓練」では、芥見東、芥見南とも地域の方の協力で多くの活動ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方と共に学ぶ「ハートメイツ学級」や地域の方と活動する「ハートメイツクラブ」など新たな地域の方との関りについて今後考え実践していく。 地域の方と児童生徒が、今以上に協働できる「地域防災訓練」を今後考えていく。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全を基盤とした児童生徒の学ぶ環境の保証・充実 「ロイロノートやスタディーサプリ」を積極的に利用した学習の充実 個人情報等の適切な管理、運用 	A	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の授業において、ロイロノートを日常的に活用している。学習資料の共有や個々の学習進度の把握等で利便性を発揮した。 児童生徒向けの教育活動アンケートでは、85%以上の生徒が授業や家庭学習でタブレット端末を活用できていると回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度に向けて、改修や引っ越しなどがあり先生は大変だが、工事中の校舎でも子どもたちは対応して生活している。中学生も楽しそうに学習や活動を行っている。 忙しい中ではあるが、今後も生徒一人一人を見守ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「スタディーサプリ」を積極的に利用した学習の充実を行う。